

2022年度 TMSナビ ストレスチェックの結果に関する調査

TMSナビ導入団体及び企業のストレスチェックにおいて、高ストレス者に該当した方は14.0%

(対象者241,837人中,有効回答217,233人)

1.導入企業全体の高ストレス者割合

▶ 女性の方が高ストレス者の割合が多い。

集団名	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
全体	241,837	217,233	30,381	14.0
男性	186,191	166,094	22,596	13.6
女性	55,646	51,139	7,785	15.2

2.年代別高ストレス者割合

▶ 20代から40代は、全体と比べて高ストレス者の割合が多くなっている。

年代	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
20歳未満	2,520	2,188	185	8.5
20代	44,532	40,152	5,832	14.5
30代	51,504	46,510	7,974	17.1
40代	63,321	57,196	8,777	15.3
50代	59,938	53,698	6,587	12.3
60歳以上	20,022	17,489	1,026	5.9

3.残業時間別高ストレス者割合

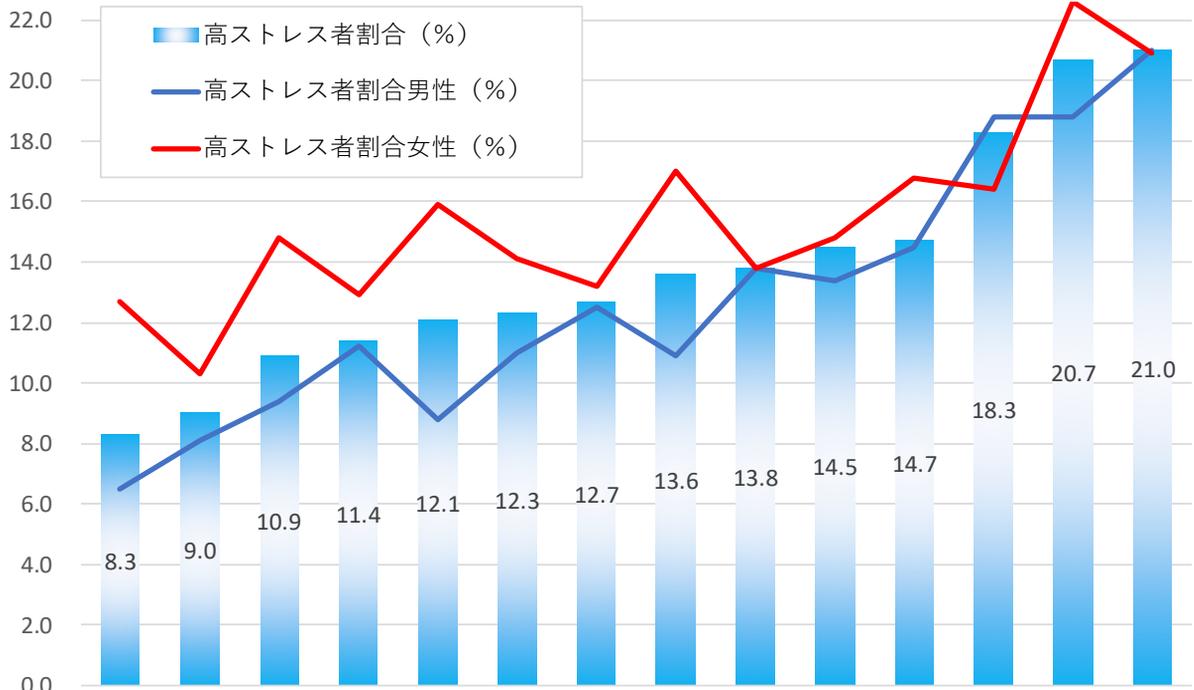
▶ 残業時間の増加に伴って高ストレス者の割合が多くなる傾向がある。

月平均残業時間	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
0~10時間	60,445	6,795	11.2
11~20時間	32,833	4,691	14.3
21~30時間	30,568	4,698	15.4
31~40時間	24,036	3,881	16.1
41~45時間	12,513	2,109	16.9
46~50時間	6,148	1,000	16.3
51時間以上	13,063	2,480	19.0
管理職・裁量労働制	6,936	873	12.6

4.業種別高ストレス者割合（性別ごと）

※業種分類は日本標準産業分類を使用

- ▶ 業種ごとの高ストレス者割合が全体の高ストレス者割合（14.0%）を上回っているのは上位5業種である。このうち上位の4業種では、男女ともに全体よりも高ストレス者の割合が多い。
- ▶ 比較的高ストレス者割合が少ない業種では、男女で差が開き、女性のほうが高ストレス者割合が多い。とくに「金融業、保険業」と「学術研究、専門・技術サービス業」は、高ストレス者の割合は少ないものの、女性では高ストレス者割合が女性全体（15.2%）よりも多くなっている。



業種全体 (%)	8.3	9.0	10.9	11.4	12.1	12.3	12.7	13.6	13.8	14.5	14.7	18.3	20.7	21.0
男性 (%)	6.5	8.1	9.4	11.2	8.8	11.0	12.5	10.9	13.8	13.4	14.5	18.8	18.8	21.0
女性 (%)	12.7	10.3	14.8	12.9	15.9	14.1	13.2	17.0	13.8	14.8	16.8	16.4	22.6	20.9

(注)本調査はデータ利用の許可を頂いた団体及び企業のデータのみ分析対象としています